国際子ども図書館

上野公園に位置し、「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く!」の理念のもと、児童書専門図書館、子どもと本のふれあいの場、子どもの本のミュージアムの３つの役割を担っています。
デジタル化が進展する社会における子どもや図書館を取り巻く環境の変化にも対応しつつ、子どもの読書活動支援サービスを提供しています。

児童書専門図書館

令和５（2023）年度制作のトークイベント動画より

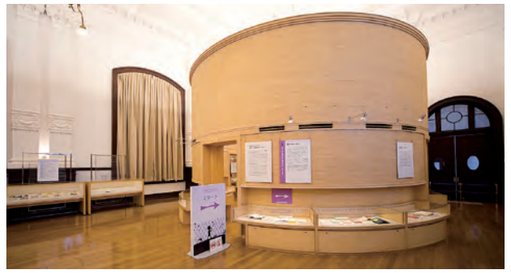
国立の児童書専門図書館として、国内外の児童書及びその関連資料を収集・保存・提供するとともに、児童書に関する専門的な情報を広く発信し、児童書や子どもの読書に関わる多様な活動を国際的な連携の下で支援する。
図書館員等児童サービス関係者を対象とした研修や交流会、国内外の有識者や著名な作家、画家を招いての講演会や動画配信等を通じて、児童サービスの専門性の向上に資する情報を提供する。

子どもと本のふれあいの場

主に子どもに向けて、国内外の児童書、各種催物、見学・体験プログラムの提供等を行うほか、ホームページを通じた情報・コンテンツの提供や学校図書館セット貸出し等、身近な図書館での読書活動を支援する取組を通して、全ての子どもが本とふれあい、図書館や読書に親しむきっかけを提供する。

子どもの本のミュージアム

児童書に関する展示会やそれに関連した講演会、各種イベント、電子展示会等を通して、児童書の持つ魅力を広く一般に紹介するとともに、上野公園という立地や、明治期に建設された歴史的建造物であるレンガ棟をいかし、総合的に文化に親しむ場としての図書館を目指す。



子どもたちと一緒に、本の世界を広げる

原 智美 児童サービス課副主査

国際子ども図書館は、国立国会図書館の部局で唯一、毎日子どもたちの声が聞こえてくる職場です。その中でも、私の所属する児童サービス課は子どもたちへの直接サービスを担当しており、赤ちゃんから小学生向けの「子どものへや」「世界を知るへや」と中高生向けの「調べものの部屋」を運営しています。「本って楽しい」「調べるって面白い」と感じてもらえるよう、「おはなし会」や「調べもの体験プログラム」を実施しています。

来館する子どもたちは年齢も興味も様々です。おはなし会で歌うわらべうたを元気よく一緒に歌ってくれる小さい子から、体験プログラムでクイズに見事正解し、友達と盛り上がって喜ぶ高校生まで、心から楽しんでいる瞬間に日々立ち会えるのはとても幸せなことで、大きなやりがいを感じています。

来館サービスと並行して、全国の学校図書館へ資料を貸し出す「学校図書館セット貸出し」も行っています。また近年は、子どもたちの学習環境の情報化が進んでいることを踏まえ、読書や学習に役立つオンラインコンテンツ（小学生向けの「しらべる・まなぶ・よむ」〈https://www.kodomo.go.jp/guide/kids/〉及び中高生向けの「調べる・学ぶ・読む」〈https://www.kodomo.go.jp/guide/ya/〉）の提供を始めました。

「調べものの部屋」の展示替え

こうした私たちの実践から得た知見を広く共有するために、図書館や学校で働く大人向けにも「調べもの体験プログラム体験会」を実施したり、本に親しむイベントを外国の大使館と共催したりするなど、交流の場づくりや情報発信にも力を入れています。

児童サービスの世界は非常に奥が深く、児童図書館員として学ぶべきことはまだまだあります。試行錯誤を重ねる中で苦心することもありますが、自分が子どもの頃に図書館で素敵な本と出会ってわくわくした気持ちを思い出しながら、責任をもって業務にあたっています。これからも子どもたちと一緒に、本を楽しみ、成長していきたいです。

学生時代の専攻

法学、公共政策学

Career

H30.4	利用者サービス部科学技術・経済課
R2.7	総務部人事課
R3.10	総務部総務課
R5.4	国際子ども図書館児童サービス課（R7.7 副主査）